

会議議事録

会議名	令和2年度 第1回 教育課程編成委員会
開催日時	令和2年10月1日（木曜日）10:30～11:55
場 所	本校3階 図書室
出席者	<p>1)外部委員</p> <p style="padding-left: 40px;">一般社団法人広島県歯科技工士会 会長 松井 哲也</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社 愛歯 広島営業所 所長 吉富 嘉朗</p> <p>2)学内委員</p> <p style="padding-left: 40px;">学校長 新谷 英章</p> <p style="padding-left: 40px;">教務主任 宮田 和彦</p> <p style="padding-left: 40px;">教務副主任 木村 卓也</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計5名)</p>
<p>【議事進行状況及び討議内容】</p> <p>1. 10時30分定刻に木村卓也教務副主任が開会を告げ、当委員5名の紹介の後、引き続き新谷英章校長の挨拶があった。</p> <p>2. 議長の選出は、当委員会実施規程により新谷英章校長が議長となり協議に入った。</p> <p>3. 当委員会の開催趣旨について、宮田和彦 教務主任より説明があった。</p> <p>4. 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">1)授業計画の概要説明</p> <p style="padding-left: 40px;">宮田和彦教務主任から、授業科目、単位数、授業実施計画表、講義・実習シラバスが示され、授業計画及び概要説明があった。</p> <p style="padding-left: 20px;">2)学校施設、設備の見学</p> <p style="padding-left: 40px;">学内委員の案内で学校施設、設備を見学した。</p> <p style="padding-left: 20px;">3)意見交換</p> <p style="padding-left: 40px;">授業カリキュラム等について意見交換を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">意見交換（討議内容）の詳細は別紙のとおりである。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、説明資料を別紙添付する。</p> <p>5. その他</p> <p style="padding-left: 20px;">次回の会議日程及び会場を決めて11時55分閉会となった。</p> <p style="padding-left: 40px;">*日程 令和3年2月18日（木曜日）午前10時30分～</p> <p style="padding-left: 40px;">*会場 本校3階 図書室</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

第1回 教育課程編成委員会 討議内容

意見交換の概要を以下に記述する。(●印：外部委員、△：学内委員)

1. 鋳造について

●鋳造機は何を使っているのですか。(松井委員)

△遠心鋳造機です。金属床はアルゴンキャスターを使用しています。(学内委員)

●基礎として学生の方は遠心鋳造を学んでおくべきだと思いますが、ほとんどの歯科技工所では遠心鋳造機は使っていません。やるとしたらシルバーの鋳造くらいです。

金銀パラジウム合金を遠心鋳造した場合に、厚い所があると鑄巣が入り精度が良くない。それに比べて、ヒーター加熱方式真空加圧鋳造機は、表面性状、鋳造精度が目視でも分かるくらい良いので、設備を整えられたらと思います。(松井、吉富委員)

△ご意見ありがとうございます。検討したいと思います。(学内委員)

2. CAD/CAM 実習について

●CAD/CAM 関係の実習はどのようにしているのですか。(松井委員)

△2年生の歯科技工実習で全員が一回は行っている。臼歯の単冠ですが、スキャニングから設計、ワックス加工までを非常勤講師にお願いしている。CADは2台設置しているが、CAM(加工機)はメーカーの持込みで削りだしを行っている。その後の鋳造完成までは後に行っています。

(学内委員)

●授業時間以外でも学生が自由に使える環境にされると良いと思います。(松井委員)

△広範囲の部位が保険適用となってきたので、CAD/CAM 実習の時間を増やす必要があると考えています。(学内委員)

3. 企業と連携した授業について

△職業実践専門課程を取得するには、企業と連携した授業を行う必要があるのです。(学内委員)

●現地実習ではなく学内で行うのですか。(吉富委員)

△学内でも良いし技工所に行っても良い。これまでも、病院や歯科技工所に出向いてインターンシップや見学実習を行っています。逆に企業から講師を派遣して頂き学内でも実施しています。

しかし、学生が実習作品を製作し、評価を受ける段階に至っていないので、体系化し評価を受ける体制を構築したいと思っています。(学内委員)

●こちらの学校だけでなく全国的にそのようなことが求められているのですか。(松井委員)

△歯科の分野だけでなく、専門課程を置く学校において求められています。(学内委員)

4. 企業側から学校に対して求められること

- 1) 現場というか雇う立場として、教育はすごく大事だと思う。労働関係、関係法規などの知識も大事です。労働環境など労使双方が正しい知識をもって、より良い関係を築いていけたらと思う。設備に関しても学校の環境が大事だと思う。学校がしっかりした教育・設備環境をもつ

ていれば、これがベースとなり就職先の職場環境が悪い場合に改善の提案もできる。

(松井委員)

2) カリキュラムにもある歯型彫刻の反復練習は、非常に重要だと思う。学校で学んだことが絶対に基本となるので、基本をしっかり身に付けて欲しいと思います。(吉富委員)

●質問ですが、ワックスアップと石膏彫刻の授業時間は、どちらが多いですか。(吉富委員)

△石膏彫刻の方が多。(学内委員)

●石膏彫刻で苦手意識が強いといった傾向があったりしないのですか。(吉富委員)

△あります。特に女性は非力なところがあり、ワックスの方が彫りやすいようです。

(学内委員)

●弊社でも歯型彫刻(天然歯彫刻)を継続して自主的にやっています。学校での教育環境の積み重ねが、技術の習得スキルを高めることにつながっていると思います。(吉富委員)

5. 学校施設、設備を見学して

●非常に整理、整頓、清掃に意識を向けられている部分が強いと感じました。(松井委員)

●整理、整頓、清掃は歯科医療に携わる職種なので、弊社でも徹底して毎日行っている。学生の時からこのような環境にあるのは素晴らしい。(吉富委員)

6. その他、歯科技工士養成所の入学者の減少(歯科技工士の減少)、歯科技工業界の現状と問題点及び改善等について意見交換が行われた。

以上